第 12 回　県西珊瑚会

テーマ：「県西珊瑚会　皆元気で良い余生」

日時：2019 年 11 月 14 日（木）快晴
於：ホテル竹園芦屋(JR 芦屋駅前)
参加者：國嶋先生を含めて 90 名、うち男子 56 名、女子 33 名

開会前に全員集合

幹事紹介

幹事代表：野崎勝義さん（6 組）
司会：蓑津正尚さん（7 組）

平松（秋田）夕子さん（1 組）
丸山（高呂）陸子さん（2 組）
井上（伊藤）春子さん（3 組）
藤野陽一さん（4 組）
吉中健三さん（5 組）
渡邊圭造子さん（8 組）

常任幹事：西川一正さん
丹羽(槇本)淳子さん

ご来賓　國嶋晃先生ご挨拶

濱崎賢太郎先生の直筆のメッセージ

別紙

皆さん今日は同窓会にお招き（いただき）有難うございました。私は今年九十七歳になりますがサムエル・ウルマンの青春の詩を左（座）右の銘として毎朝唱えて元気に過ごしています。

目標を持って生きて行き感動することは老化を防ぐと言われています。今年三月四十五歳で引退したプロ野球のイチロー選手の引退の時の言葉に感動いたしました。それは「最低五十歳まで現役を常々おっしゃっていましたが（四十五歳で引退して）有言不実行の男になってしまったけれども（五十歳まで現役という）表現をしていないところまでできなかった言葉にして表現をしていないところまでできなかった言葉にして表現する

代読：副島（長坂）祥子さん

ことは目標に近づく一つの方法だと思う」と言っておられました

要するに目標を立てて その目標を言葉によって常々表現することは目標に近づく一つの方法だと言うことです 私が感動したのは目標を言葉によって常々表現することです

皆さんも目標を立てあるいは立てておれば その目標を言葉によって常々表現して目標に近づこうではありませんか

令和一年十一月十四日

濱崎賢太郎

珊瑚会同窓会員様

当日のスナップ

1・2 組

3 組

4・8 組

4・5・6 組

6 組

7組

8組

歓談風景

恩師とのスナップ